



幼少期から親しんできた多様な乗り物

幼い頃より父に自衛隊イベントによく連れて行ってもらったこともあり、特殊な車両や航空機が好きな子供でした。あるとき南極観測船に乗れる機会があって、壮さに感動しました。そして、「この大きい船を自分で作りたい!」と思いました。

実際に機械に触れることに魅力

高校に入ってから、より一層ものづくりがしたいと思うようになりました。
物理の授業が好きで、「将来好きな物理を活かせる仕事がしたい」という気持ちがあり、工学部への進学を決めました。
その中でも、機械工学コースは実際に機械に触れることにとても魅力を感じました。

フォーミュラプロジェクトに入部を決めた理由

新入生歓迎会のときにフォーミュラプロジェクトで作った車に乗せてもらって、「こんなの自分たちで作れるの?!」と感激して、フォーミュラプロジェクトに入部を決めました。幼い頃から図画工作が大好きで、自分でものづくりがしたいと思っていたことも決め手です。入部してみて、好きな乗り物の話や溶接の話が出来る人も多くてうれしいです。

授業とは違った成長の機会

フォーミュラプロジェクトでは、全日本学生フォーミュラの大会に向けてマシン開発を中心に日々活動に取り組んでいます。
大会ではマシンのデザイン、コスト、性能、燃費、プレゼンテーションなどいくつかの審査を受けます。
チームワークももちろん必要ですし、フォーミュラカーを作るだけではない、社会に出るために必要な経験をさせてもらっています。

夏休みも学びの時間に

この夏休みは、フォーミュラの試走会の見学に行きます。静岡で行われるのですが、そのタイミングで企業の溶接講座を受けてくる予定です。
フレームなどの難しい溶接もできるよう、頑張りたいです!



目標のために努力していること

まだ学部生1年ですが、卒業後の進路については昔から憧れている造船に興味があるので、専門知識を身につけるため大学院進学を考えています。そのためには、必須であるTOEICのスコアも伸ばさなくてはなりません。
正直に言うと英語は得意ではありません。希望の職業の採用には、指定のTOEICのスコアが必要なので、今から頑張っています。

高校の後輩たちへ

どんなに厳しい状況であっても、最後まで悔いなく取り組むことでその先が開けます。諦めることなく、頑張らしましょう。